
トリップ・アプリ【総集編】

瑞

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

トリップ・アプリ【総集編】

【コード】

N4800U

【作者名】

瑞

【あらすじ】

携帯電話で異世界トリップ？というつかり変なアプリに手を出したばかりに変な世界に行っちゃいました。冒険？たぶん、冒険だと思えます。主人公最強ですが、最強なのは携帯電話だったり・・・。

結構のんきな本人と、結構殺伐としている周りがいます。

多少残酷な表現がありますので、嫌いな方はお気をつけください。

(連載しているトリップ・アプリを加筆・修正したものになります。現在はチュートリアル編終了。まとめて読みたい方どうぞ)

ブログ

今日、新しい携帯を買った。

元々使っていたのは気に入っていたんだが、最近変な雑音が入るようになって不自由が出てきた。

まあ、それでも結構2年近くは使ったし、いい機会だと思って機種変更をした。

偶然にも、最新機種が機種変も新規も0円だったので、これ幸いとそれに変更した。

新しい携帯を開くと、ニュースで、どこそで列車の脱線事故とか、眠り病は現代の奇病か？とか、自殺率が上昇とか、殺伐とした話題ばかりで気が滅入る。

もうちょい気を紛らわせるいい物はないかと、最初から入っているアプリや、追加できる物を探すことにした。

まず、前の機種との使い勝手の比較と、いままで使っていた機能（主にウエブマネーとか）を再開させるために色々やっていると、そのアプリに気付いた。

『トリップ・アプリ』

新しいRPGかと説明を読む。

「新しい世界を冒険しませんか？」
それが出会いだった。

1. アプリのDLとログインについて

『トリップ・アプリ』の説明には世界観も書いてあり、通常のゲームと同じく剣と魔法の国のようだ。

あまり変わったことはなく、フリーマークがついているので基本は無料らしい。

金額は大事だよな。

とりあえず基本は押さえた。携帯のコースもパケットフリーに加入しているし、DLもゲーム時間も問題ない。

さて、じゃあ念のため詳細確認にホームページ見に行ってみますか。

外部へ移動します、の良く見る表示が出て、RPGの割には簡素なDL用のページに移動した。

なんか細かい文字で注意書きがあったがとりあえず無視。問題があればアプリを削除すればいいや。

DLをクリックすると、一瞬チカツと画面が光った。

あれ？こんなことあったっけ？機種変更したから、新しい機能のひとつなのか？

問題なくDL終了。

おお、ちゃんとアプリのページにアイコンが表示されている。

・・・ちよつと趣味悪い。扉を模したとわかるけど、色が赤。いや、色はいいけど。

なんとも微妙な感じになりながら懐かしのファミコンの主人公レベルの残念なドット絵アプリのアイコンにちよつと脱力する。

さてゲームの設定しますか。

ふむふむ。次はキャラ作成つと。

使い始めて思ったけど、これ軽いわ。サクサク動く。アンテナの接続がいいの？メール受信より軽い。

しかし、使用キャラお仕着せじゃないんだ。某RPGとかのキャラみたいにいーいキャラも多いから好きなんだけどなー。まだテスト中っぽいけど、クローズじゃなくてオープンなのか？

対戦とか他の人との交流とかもあるのか？

MMORPGやったことないけど、携帯レベルのゲームデータでこんなに細かく設定するものなの？

種族、属性、祝福

名前、年齢、性別、教育

職業、副職業、追加効果

基本パラメータ、追加ボーナス

なんか普通のRPGで見かけない設定もあるような？

追加のパラメータボーナスにはランダムらしく燃えました。

パラに追加できるけど+0〜+18らしい。ほとんどは+3前後しか出ない。

何回再設定をpushしたとか。

ただ、パラメータ項目がシンプル4項目しかないや。

STR、INT、SPD、LUK

初期パラメータで24を割り振って作るっぽいけど、初期の最大は各項目15だね。

15以上には+が動かないし、赤くなるし。

よし、決めた。

名前はクラウン。男、14歳。教育は「大」（大中小と並んでいたんだもん。おつきい方がいいかなと）

面倒だから種族は人間、属性は風（水と並んで回復も攻撃もバランスいいらしい）、祝福も風。（よくわかんないけど副の属性みたいな感じ？属性と同じ項目が並んでたし）

職業は戦士、副職業は僧侶（戦士、魔術師、僧侶、盗賊の4択って…ドクエ？）

追加効果はLUK（パラメータの4択だったので）

それでパラメータ。ボーナス+18出るまで頑張りました。

戦士なのでSTR15、INT6、SPD15、LUK6で設定。

さてログインっと。

ぼちっとSTARTを押すと、ゲーム開始や、webでの移動時に毎度おなじみの最終確認画面が出た。

『本当にログインしますか』

あれ？サーバーの選択はないの？これはオンラインのゲームじゃないんだ？

あんな詳しくキャラ決めたのにドクエ1とかみたいに一人用のゲームなの？

まあ、いつか。

つまんなかったらやめればいいんだし。

しかし、セーブなどはチュートリアルでって書いてあったけど、実践派？

クエストで覚えようってタイプなのか？。

携帯の画面には2等身のドット絵のキャラがくるくる回転している。
なんか懐かしい感じでちょっとほほえましくなった。

作成したばかりのキャラを選択し、ログインしますかの問いにye
sボタンを押した。

その途端、ありえない光量が画面から放たれ、一瞬周りが見えなくな
った。

2・チユートリアル開始と最初の戦闘

携帯から放たれた光に目がくらんで、一瞬周りが見えなくなった。

だが、次に気付いた。

匂いが、気配が、すべてが一瞬で切り替わった。

部屋に中にいたはずなのに、座っていた椅子も、隣にあったPCも机もベッドもすべてなくなっていた。

手に持っているのは携帯のみ。

着ているものも普通のスウェットの上下にスリッパ。

いる場所は……。

「森の中!!!??」

周囲を見回すと樹齢何十年といわれても信じるだろう、大きな木々。木漏れ日は入るが薄暗い森の奥深くと予想できる場所だった。

「落ち着こう……」

さっきまで携帯でRPGの設定をしていたんだ。それなのになんで……。

「携帯!」

手に持っていて、存在を忘れていた物の画面を見る。

そこには

『ロゲインに成功しました』
と表示がある。OKボタンを押して先送りをする。

『現在地：最初の森』
の表示とともにMAPが表示されている。
パニック状態のまま色々調べる。

ステータス画面は設定したまま。アイテム画面は何もなし。
装備画面では『普通の服、普通のサンダル、初期武器』
初期武器は灰色になっている。

リアルにorzのポーズをとった。

しばらく放心状態だったが、どうもやっぱりこれが原因だろうとあたりをつける。

残っていたスキルとクエストの各ページも見てみた。

スキル『学習、気配探知、携帯』
クエスト『チュートリアル 0/10：パッシブスキルを理解しよう』
『

なんかもうもう一度orzになりそうになり、踏みとどまる。
クエストが気になり、クリックして内容を確認する。

『チュートリアル 0/10：パッシブスキルを理解しよう・パッシブスキルは基本的にON/OFF可能です。手に入れたらONにしましょう。スキル項目をクリックしてONにしてください』

これを見て、スキル画面をもう一度あける。

スキル画面のページは赤と青で色分けされており左右に分かれて表

示されるようだが、赤の欄には何もなかった。

青の欄の3つがパッシブスキルのようだ。

それぞれクリックするとON/OFFがきりかえられる。

3つともONにすると、ふわっと何かに包まれた気がし、次いでスツと頭の芯が冷えるような、引つ張られるような感覚が森の奥から感じられた。

いやな気配が森の奥から近づいてくる。たぶんこれが気配探知の効果なんだろう。

物の燃えるような臭いがする。

お客さんがおいでなさったようだ。

どこか感覚が切り替わったのか、怖くない。

何でだろうという疑問はとりあえず心の奥底に押し込める。今はおそってくるだろう敵から身を守らなくては。

森の中から炎をまとったねずみが現れる。

燃える火の匂いにどぶの匂いが混じった臭い。

どちらかというと思臭だろう。

やばいと思いき身構えるが、その瞬間周りの音や動きがピタリと止まる。

空中に光で『コマンド?』と出ている。

あれだ、ゲームでポーズボタンを押した状態。一時停止

何度目かわからないorz状態になりながら元凶(推定)の携帯をみる。

『チュートリアル 1/10: 戦闘を理解しよう: Lvアップの基

本は戦闘で得られる経験値が主です。戦闘方法を理解しましょう。コントローラーで初期武器を選び、装備して、攻撃対象を選択してください。』

ご丁寧に画面に4個の武器アイコンが点滅しています。

長剣、短剣、杖、弓

装備に初期武器があるのに持ってないと思ったたらこれなのか。

なんか4択が多いな、このゲーム。

もうなんかリアルなんだかゲームなんだかわからないが、ゲームと思いつまむことにした。

長剣を選択し、現れたネズミのうち一匹にカーソルを合わせ（すこいよ、携帯でターゲットカーソル動かすと がちゃんとネズミの上を移動するよ）、OKボタンを押した。

攻撃対象を選択し、OKボタンを押すとポーズ状態が解除になった。

選択したネズミに対し、光のエフェクトが発生。倒れて動かなくなった。実際に武器をふるっているわけではないためか、血などは出ず生々しくない。

ただポリゴンではなく、崩れたりもない。これって実物？ゲーム？

次はネズミのターン。

ひゅつと体当たりをしてくる、結構早くよけきれない。

手にあたり、携帯を取り落とした。

まずい、と思った瞬間、携帯はチカツと光り手の中に戻った。

しばしボー然とすると、また空中に文字が・・・。

『携帯は保護アイテムです。手の届かない範囲、もしくは戦闘中に手から離れると自動的に元の場所に戻ります。』

何度目かわからないがorzしそうになった。

しかし、気持ちを切り替えて身構える。考えてみれば好都合だ。現在自分の持ち物はほぼこれだけ。戦いも情報も携帯に頼っている。無くさないならありがたい。携帯と空中と表示が両方出ているが、重要なことは空中にも出るって考えでいいのかな？手元の携帯画面は見ないで戦う方が戦いやすいんだよね。

そんなこんなを考えながら戦っていると、結構早く戦闘終了した。今回のバトルのネズミは全部で3匹だった。

戦闘中の話だけど、一匹は武器で倒したが、ネズミはかなり素早い。よく逃げたり、援軍来たりしないなーと置いていたら…。

パシッと乾いた音がして残ったのネズミのうち一匹が少し先の何も無い空間ではじかれ、転がった。

よく見ると、そっちの方に何匹かのネズミが張り付いている。

ちよつどガラス越しにいるような…。

はっとして手元の携帯を見ると

『戦闘中の結界は自動制御中です。炎鼠は逃走を失敗しました』

戦闘中のポーズ状態のまま、しばし遠い目をしてしまった。

あ、うん。そうだね。普通のRPGでも援軍呼ぶモンスターと分裂

する以外では増えたりしないよね。

主人公やモンスターが逃げるのにも成功失敗の判定が入っているよね。

そっか、結界か。

なんか、戦いやすいけど、いいのかなあ。

ネズミ3匹倒糸ながら、いろいろ試してみた。

確認すればするほど、携帯って万能状態。

武器のかわりも、相手の情報確認も、困ったときの一時停止も。

うん、さすがゲームだ…。

でも、装備欄見てもアイテム欄を見ても携帯はない。スキル欄の携帯の表示のみ。

携帯は技能なのかとしばし悩む。

システム画面からヘルプを呼び出し、よくある質問を確認。

『Q：携帯を持っているのに、装備に入っていないません』

『A：携帯はコントローラーです。装備やアイテム欄には追加されません』

何回目だろう、切なくなつた。よくある質問なんだ。こういつたことってよくあるんだ…。

ネズミを倒すと結界は解除されたらしく、音が戻ってきた。

そして次のネズミがすつ飛んでくるのを視界の端に確認、身構えろとまたポーズ状態に突入した。

が

『戦闘が終了しました。経験値15を獲得。』
の表示が出た。そしてよくあるファンファーレが鳴った。

『レベルアップ。レベルが2になりました。』

続けて同じように空中に文字が浮かぶ。

『HPおよび、SPの最大量が増加しました。増加量はレベルアップの度ランダムで変化します』

『ポイントを各項目に振ってください。なお、スキルを獲得するにもポイントが必要です。必要に応じてスキルにも割り振ってください』

うん、このゲームってHP、SPのバーは見えるけど、数字は書いてない。

普通のHPとMPなのかな？

ポイントはステータスで見ると3ポイントある。どこに振ればいいんだろう。

STRの横の+を押そうとすると、自動で携帯画面にチュートリアルが表示が開いた。

『チュートリアル 2/10：ポイントを理解しよう；Lvアップ後はポイントを振ることでキャラを強化します。ポイントの活用方法を理解しましょう。コントローラーでスキル獲得を選び、「呪文」を選択してください。』

あー。チュートリアル中だったね。じゃあ、指示通りスキル獲得を選択して、ずらっと並んだスキルの中の「呪文」を選んだ。

えっと、ステータスもスキルも共通だと割り振り考えないと行き詰

まるなあ。

呪文、呪文と〜。ちょっと浮かれながらぼちっとOKボタンを押す。

『呪文が使用可能になりました』

お、魔法つかえるようになった〜。

RPGの醍醐味は魔法だね。魔法ってあこがれるよね。

『「僧侶：回復、補助、聖属性」習得する系統を選択してください』

何回目だろう、遠くを見たよ。

なんでこんなに選択項目多いの？自由って言えば聞こえがいいけど、落とし穴満載じゃないか〜。

一歩間違えたら使えないキャラだよ、これ。wikiはどこだ〜。

もういい。PT組めるかすらわからんし、ソロプレイのつもりで作戦名は命大事にで行くわ。

結局、まず回復を覚えることにした。

『キュアLv1を習得しました。使用SP：2』

さてと、さっきの戦闘で1/3ほどHPのバーが減っている。試しを兼ねて回復してみよう。

スキルから呪文、「キュアLv1」を選択し、実行を押す。

きらきらとした光とふんわりした煙？のエフェクトが現れ、身体がほんのり暖かくなった。

おお、魔法の効果あるな。

HPバーは戻ったし、SPバーが1/4くらい減った。

ふむふむ。

王道のRPGの初期設定や、さつき習得した魔法の消費SPから考えて

現在のHPとSPは10前後なのかな？

わかりづらいなあ。

後、ショートカットキーないのかな？

これじゃあ戦闘中は使いづらいよ。

準備万端元の状態になると、ポーズ状態を解除する。

今度は結界の外で張り付いていたネズミ（どうも携帯の表示からすると炎鼠）が5匹目の前に飛び出してくる。

先ほどの復習のような感じで、携帯を操り直接攻撃を行う。

3匹目を倒したとき、横合いからネズミが攻撃してきた。

HPバーがかなり減る。

クリティカルヒットだったらしい。

ヤバいなあと思いながらしのいでいると、ピコンと頭の上にひらめいた点灯マーク。

戦闘中なのになんか気が遠くなりそうだった。

しかし目の端に7〜8個のBOXが表示され、中央にスキルリストが表示されたときに気付いた。

あ、これショートカットじゃない？と。

当然戦闘はコマンド入力状態のため静止中。

携帯画面でスキルから「キュアレベル」を選択し、ショートカットを選択（いつの間にか項目が出現していたよ）。そうすると空中のショートカットのBOXに「キュアレベル」が表示された。スキルリストを閉じてもBOXは残っている。うん、なんかやりやすそう。こっちは直に触ればいいみたいだ。何とか戦闘もネズミを見ながら片手で携帯を操作できるようになったし。

（結局画面を見ながらリモコンをいじる感じなんだなと実感）

ポンと「キュアレベル」を触り、HP回復させ、残ったネズミを攻撃。

無事戦闘終了となった。

戦闘が終わり、結界が解除になると、今までとは違ったエフェクトが出た。

そして

『ショートソードを手に入れました。素材：炎鼠の皮を手に入れました。薬草を手に入れました』
の表示が出た。

その表示が出ると同時にぴこんと視界の端に点滅マーク。

手元の携帯を確認すると

『チュートリアル 4/10：アイテムを理解しよう・戦闘後アイテムを得ることがあります。活用方法を理解しましょう。コントローラーで該当のアイテムを選び、内容を確認のうえ使用してください。』

あれ？あれれ？さつきは確かチュートリアル2だったはず。
あわててクエストを開くとチュートリアル3は完結になっていた。

「チュートリアル 3 / 10 : 呪文を理解しよう ; スキルを使用すると該当の消費SPを使用することにより効果が表れます。獲得した呪文を使用してみましょう。」

あ、自然にやってたから出てこなかったんだ、この表示。点滅が見えたり見えなかったり。音が聞こえたり聞こえなかったり。どういう基準で表示されているんだろう？

アイテム欄で得たものを確認すると、

ショートソード：長剣。初期装備の剣より強い。攻撃力10

薬草：HPおよびSPの回復。回復量（小）

炎鼠の皮：素材アイテム

すみません、正直に言います。よくわかりません。orz

まあ、無難そうな薬草を使ってみるか。

薬草を選択し、使用を押すとHP、SPバーが両方ともゆるっと回復した。

回復量（小）なのに、全回復。まだ最大値が小さいせいか。

あとは携帯で選択して使用した影も形もない初期装備の長剣の代わりに、ショートソードを装備してみた。

きらきらとしたエフェクトとともに腰によくある剣をぶら下げるベルトで装備された。

さつきまでこれも影も形もなかったのに。

アイテムはすぐにアイテム欄に吸い込まれて、使用や装備、渡す以外では表に出ないのか。

はぎとらなくていいのは楽だけど、なんかなあ。

初期武器は表に出てなかったのに、この差は何だろう？

オートとマニュアルの差か。オートだと携帯に併合されてて、攻撃力とかだけ効果あり、マニュアルだと実際に自分で剣を振るのか？

後、クエストをチェックしていて気付いた。

報酬あるんだ、チュートリアル。

アイテムが増えてたよ。

バンダナ、革の胸当て、革のブーツ、マント、薬草×5

とりあえず装備できるものは装備した。

多分、これで周りに違和感なく溶け込める服装になるんだろうしね。

3・チュートリアルと最初の仲間

とりあえず、携帯のMAPを開き、付近の状況を確認。少し行っただところに村があるっぽい。

あれか。最初の村か

そう考えながら歩いていると
ぴこんとチュートリアルのカエスト表示が出てきた。

『チュートリアル 5/10:フレンドを理解しよう・仲間を見つけ誘うことに成功するパーティが組めます。バランス良く仲間を誘い、クエストを進めましょう。仲間を見つけたら、フレンド登録をしてください。』

うん。項目のフレンド機能見ると、写真を撮り登録するらしい。

これが出たってことはフラグなの？
美少女か美少年が出るフラグなのか。

ちょっとテンションが上がってきた。最初の仲間ってヒロインとかのことが多いよね？
どんな子かなあ。

ふわっと何かの気配がする。

ああ、スキル効果だなあと思いながらそっちのほうに走る。

なぜかって？もちろんフラグのためだよ。待ってるのはじめての仲間。

そんなこんなで、走っていったところ、ハジメテノナカマに出会えました。

ですが……。

かっこいい系のお兄さんでした。無念！

やっぱメガネのドジっ子魔法使いとか、ツンデレ金髪ドリルとかがデフォでしょう（涙）

まあ、いいです。

そのお兄さんに連れられ、初めての村ことビナサ村に来ました。（ビナシの森の近くの村で、ビナサなんだってさ）

あ、チュートリアル5のフレンド登録、6のパーティ結成も無事に行えました。

フレンドやパーティの画面はこのお兄さんにも見えるらしいです。

（確かに空中にも表示出てました）

NPC？プレイヤー？まあ、見えておかしくないものだっていうのは分かったからいいか。

今回の報酬は革の籠手（多分盾の代わり？）と鉄の剣でした。

というわけで装備しました。

ショートソード、短い付き合ってた。

さて、村のことですが、小さいながらもとりあえず一通りそろっている村だそうです。

やっぱりお約束のギルドがあるそうで、登録すると身分証明書になるギルドカードとお仕事の斡旋が受けれるそうです。

他に手段もないし、登録しようと思ってるんですが、今日はもう閉まっちゃっているそうです。

明日行くことになりました。

ちなみに今は一文無し。宿どうしようかな〜と思ったのですがお兄さんがおごってくれそうです。

野宿しなくてよくなり、助かりました。

とりあえず怒涛の1日でした。色々考えるのは明日にします。おやすみなさい。

夜も更けて。あー疲れたと、眠ったはずだったんですが、真夜中なのに起きちゃいました。

変な気配がしたんですが、6人部屋なのに他の人は気づいていません。

あれか。気配ですか、そうですか。

あ、そういえば、昨日一日であの後Lv up分のポイント振り分けました。今はLv5です。

スキル類はよくわかんないので、後で考えることにして今のところ役に立ちそうなものだけとって残りはSTRに回しました。

ちなみに役に立ちそうなものはキュアをLv3まで取り、剣術スキル（攻撃力剣使用時1.2倍）、武技をLv2にしました。

とりあえず死にたくないです。

で、変な気配の話。

宿の廊下側にも窓があるんですが、そこからします。

誘われる感じですが行きたくありません。

ライバルフラグとか立ちそうな予感がします。

（でも、行かなきゃ話が進まない感じですね）

ため息をつきながら、廊下へ向かいます。

ループイベントです。もしくは強制イベントです。

がちやつとわざと音を立ててドアを開けると、マントをつけた赤髪
のひとが窓の向こうに消えていくのが見えました。

お約束です。

さっさと居なくなってくれていれば、変なフラグ立たないで済んだ
のになあ。

心配してからずいぶんたってたのに。

遠い目をしながらまたベッドへ戻って寝ることにしました。

おやすみなさい。

中途半端な時間に眠りましたが朝はさわやかに起きました。おはよ
うございます。今日もいい朝です。

異世界生活（断定？）2日目です。

今日はお兄さんに連れられてギルドに行くことになっています。

ちよつと考えたんですが、ネットゲームでも普通のRPGでも序盤
ってお金に苦労しますよね？

手に職系のスキルを手に入れて内職した方がいいのでしょうか。

どうせなら役立って、勝つお金も儲かるもの方がいいですよ。

定番では、調理とか裁縫とかポーション作成とかでしょうか。

スキル確認すると薬師（薬草採取および生成）って普通なら二つに
分かれてそうなのがひとつになっているのがあるんですよ。

次のLvupで考えますか。

そうこう言っているうちに、定番のギルド、定番の説明（ランクとか決まり事とか）あって無事加入できました。
え？なんで割愛するかって？

面倒だからです。（きっぱり）
そして定番だからです（さらにきっぱり）

んじゃ、クエスト受けますか。

あ、お兄さん面倒見いいですね。パーティ組んだままでいいんですか？じゃあ、一緒に行きますか。

じゃあ、少し上のランクでいいんですね。

何のクエスト受けましょうか。

・・・選びました。初めてのクエストで薬草採取を選びました。

面倒見のいいお兄さん改めダイナさんも一緒にしてくれるそうです。

結局余っていたポイントで薬師スキルとりました。

まあ、アイテムで魔法の代用できればSP節約できますしね。

ちなみに薬師スキルも剣術スキルもパッシブスキルなのでONにしてあります。

大変便利です。

剣をおうとすると、ターゲットカーソルが出ますし、薬草を摘もうとすると薬草がきらきら光ります。

調剤しようとする、必要な材料がポップアップのように頭に浮かびます。

真面目に大変便利です。

そうそう。スキルの確認のため材料のままの薬草数種類購入したんですよね。

お金は昨日手に入れたネズミヤイヌからの戦利品で賄いました。

ダイナさんに宿代も返そうと思ったんですが、助けてもらったお礼だからって固辞されました。

話を戻して、調剤してみました。成功しました。ポーション万歳です。

本当にご都合主義ですが、1瞬で完成しました。びっくりです。

はじめて完成したポーションってなんかどんなものであれちょっと感慨深くありませんか？

まあ、お礼のお礼を兼ねてダイナさんにあげてみました。すると。

ぴーんとチュートリアル画面が出ました。しかも完成済みです。

ポップアップされるときとされないときの差が分かりません。こないだは出てこなくて焦ったのになあ。

チュートリアルのは取引でした。

後、報酬は魔法のカバンでした。そうあれです。ドラ もんのポケットのカバンVerです。

これで持ち運びは楽になります。

あ、取引しようとするときちゃんと取引画面出て、OK押すまで交換できませんでしたよ。

閑話1：ピナシの森

その日いつものように私は村のそばの森に薬草を取りに行っていた。駆け出しの冒険者である私でも何とか依頼を達成できる難易度の森だ。

ピナシ地方の森なので一般にはピナシの森と呼ばれている。

いつもなら難なく数時間で達成できるのだが今日はなぜか森の雰囲気がおかしかった。

(森の空気がおかしい・・・?)

浮ついたような、落ち着かないような変な感じがあった。

つい森の奥深くに入りすぎたのだろう。いつもの炎鼠ではなく、炎犬に囲まれていることに気付いた。

(まずい)

一匹一匹ならなんとか勝てない強さではないが、群れで攻撃してくる厄介な敵だ。

見えるだけで十数匹、恐らく隠れているのを合わせればもう少し行くだろう。

絶体絶命とも言える状態だった。

数匹の炎犬を倒したがこちらの息も切れ始め、疲れが見え始めた。しかし、まだかなりの数がある。

(ここまでか・・・)

冒険者になったときから覚悟はある。だが死にたいと思ったことはない。

ギリギリまであがこう、そう思った時横合いの森から音が聞こえた。

（新手か！）

そちらを振り向くと、銀色の閃光が走るのが見えた。

森から一人の少年が出てきたのだ。

駆け出しの冒険者なのか、己と似た簡易な防具をつけている。

少年はきょとんとこちらを見ると、一呼吸おいてこう言った。

「加勢するよ！」

その時、先ほどの閃光が攻撃であること、その一撃で十数匹の炎犬が倒れていること、残りの犬も一度態勢を整えるためか仲間の方へ引いていることに気付いた。

そして彼は、瞬く間に、や、見る見るうちにという言葉にふさわしい速さで敵を屠っていく。

私は呆然としてその様を見ているしかなかった。

炎犬の襲撃が止み、少年と話してみるとひどく世慣れていない印象を受けた。

手に持った武器は初心者用と書いていいナイフと剣の中間のようなもの。防具も革鎧のようなものだ。

そんな何の変哲もないような格好なのに、動きは洗練されていた。

炎犬の攻撃をよける様、攻撃をいなしつつ、武器で切り裂く様、すべてがそつがなかった。

炎犬の首を裂き、吹き出る血を避けるのさえ簡単だと言わんばかりだった。

そして炎犬の群を倒した後、獲物から皮をはぎ取るのもとても手慣れていた。あれだけきれいに皮を剥げる人はなかなかいないだろうと思った。

目的地はとうやら村へ行くらしい。

長くつき合えるようになればいいなと思いつながら、私は、私を助け起こそうと差し伸べられた手をとった。

4・チュートリアルと最初のクエスト

ビナシの森に薬草採取に来ました。

基本的には場所を選べば安心で、今回のクエストの薬草は比較的安
全な場所にあるそうです。

途中、携帯でMAPを確認しながら来ましたが、携帯は周りの人か
らは見えないようです。

取り出してもポーズ状態、使ってもポーズ状態。

パーティを組んできましたので、経験値は分配ですが、1匹あたり
から入る量は少し多めになります。
助かります。

そここう歩いていると

『チュートリアル 8/10：PTチャットを理解しよう・パーテ
イを使用するとPTチャットを利用できます。PTリングを作成し、
仲間とチャットを試みましょう。』
の表示が出ました。

PTリング?と思い携帯で検索。

『PTリング：PTの仲間とチャットができる。距離は問わない。

消費アイテム。PT画面の「リング」から作成』

ふむふむ。

作成してダイナさんに渡してみました。離れていても話せるし、M
AP画面でどこにいるか表示されます。便利です。

ちなみに自分用のリングはなかったです。携帯で相手を選んで発信
すると話せました。ヘルプによると相手からの場合は普通に着信音

が鳴るようです。

近くや周りの地理をダイナさんから聞いていると、またチュートリアル画面が出てきます。

連続でポップアップは珍しいですね。

『チュートリアル 9/10：MAPを理解しよう・情報を集めるとMAPが自動更新されます。新しい街に着いたら積極的に情報を収集してみましょう。』

なるほど、MAPが詳細に更新されたり、町の詳細MAPができたりにしています。

もうチュートリアルも9ですか。直に全部終わりになりますね。そのあとはストーリークエストとかあるんでしょうかね。

え、薬草採取ですか？

薬師スキルのおかげでサクサク進みましたし、クエスト以外の薬草もたくさん採れました。

カバンの中は今薬草だらけです。

携帯は常に身につけている（というかキーチェーンにつけてます。無くすと怖いから）けど、購入して初めて携帯が鳴りました。

電子音です。ああ、まだ着信音を変えてませんでした。デフォのままとは不覚。

初めて聞く声で、え？イタ電？とか思ったけど違いました。内容を要約するところです。

1・挨拶

2・困ったことが起きている、助けてほしい

3・MAPに目的地表示を出すので来てほしい

えっと、いいですが、なんでこの携帯のNo知ってるんでしょうか？ゲームだからですか。ゲームだからですね。

本日初のorz状態になりました。

まあ、いいんですけどね。携帯No非通知じゃなかったので登録しときました。もちろんしっかり登録名は「自称：精霊」にしときました。

ダイナさんに上記の伝言ことを伝えると、非常に微妙な表情で了承されました。
いわく

普通は精霊は人間に係わりたがらないようです。
ほんとに人間？て聞かれちゃいましたよ。

ンじゃ行きますかとMAPで確認すると

『ストーリークエスト1：精霊の依頼：精霊の里で事件が起きています。話を聞き、手伝いましょう』

・・・強制クエスト？YESかハイしか選択肢がないんですね。そうですか。

チュートリアルが終わる前にストーリーがはじまっちゃいましたけど、いいんでしょうか。まあいいですか。

すぐに移動と言うことなので、はい、MAPに導かれて移動中です。いまさらですが電波のない（と思われる）ここで、なんで移動の度に現在地アイコンが動くんですかね？

目的地設定して、Autoを押したら、きらきらした光が目の前を

案内し始めました。

これを追いかけるんですね。わかりました。

うん、オートラン（もどき）まであるんだ、このゲーム（仮）

目的地までは案内があるので安心して携帯でQ&A検索します。

M A P機能を見て・・・と

『Q：なぜ現在地が表示されるのでしょうか。A：風の精霊の加護のおかげです。風の精霊はあらゆるところにいますので、その助けによりM A P機能は成立しています』

・・・異世界クオリティ万歳。電波の代わりは風の精霊ですか。

あれ？じゃあ、精霊のクエストが最初にあるのって、その助けが借りられるようになるってことかな？
色々便利そうだなあ。

んじゃ、頑張ってお手伝いしますか。

オートランの案内役の精霊さん、大変有能です。

どうもやっぱり精霊といえば迷いの森らしく、同じような景色がずっと続いています。

ダイナさんと一緒に行く追いかけますが遅すぎず速すぎず誘導してくれています。

すごい伴走技術ですね。

ともあれ、走っていると急に森が開けてお城と町が見えました。

これを隠せる結界ってすごいなあって素直に思います。

そのくらい大きい街です。

隣でダイナさんもびっくりしてます。やっぱりこっちでも普通のこ

とじゃないんですね。よかった。

町に入ると強制イベント状態です。
テンプレのように精霊の女王様の前に連れて行かれ、イベント内容の説明を受けました。

要は町の東に巣くっているゴブリンを倒して、盗られた精霊の杖を取り戻してくれというものでした。

結界があるのになんで盗まれたのか、町に被害があるのかきつと聞いてはいけないんでしょうね。

RPGでいつも不思議に思うんですよね、こつこついつのつて。

話が終わるとまたぴこーんとポップアップが

『ストーリークエスト2：精霊の依頼・盗まれた精霊の杖を取り返しましょう。町の東にいるボスゴブリンを倒してください。ゴブリン0/10、ボスゴブリン0/1、精霊の杖0/1』
ストーリークエスト1の報酬は「祈りのカケラ1/3」というものでした。なんだろう？これ

今日は精霊の町で休んで明日朝早くからゴブリン退治に行ってきた。

とりあえず、今日はあと情報収集を兼ねて町の武器屋や防具屋、道具屋を見に行きますか。

新しい街に入ったら装備更新はRPGの基本ですよ。

あ、しまった。通貨違うかな？

通貨違うかな？とダイナさんと話しながら、精霊の町で装備を充実させようと頑張っているいろいろ見ました、が

結論：魔法使い、精霊使い用しかない

盲点でした。だってRPGではどの町でもたいてい各職の武器防具あるじゃないか。

でも精霊って人間とあまりかわらず、自分たちは魔法使い系の能力を使うから普通の武器なかったよ。残念。

ただ、隣でダイナさんきらきらした目で見てるから、使えないだけでかなり珍しいものなのかもしれない。

まあ、仕方ないか。

それで翌日

ゴブリンを倒しに行きました。

サクツと倒せました。

え？あれ？精霊たちみんなでかなわなかったぐらいのゴブリンじゃないの？

2人でサクツと倒せちゃいましたよ？

何か釈然としないけれど、杖を女王様に返してストーリークエスト3まで終了。

取り返すまでが2、返すまでが3でした。

これ3つクリアしたら祈りの欠片が揃いました。

女王様に満月の光にかざしてくださいねと言われましたので、ピナサ村に戻ったらやってみようつと。

女王様からのお礼は精霊の涙といわれる宝石を数個でした。

すぐく魔力を多く含んだ高価な石だそうです。

おお、俗に言う魔石ですね。

戻ったらダイナさん山分けしようね。

精霊との強制イベントをこなして戻ってきました、ビナサ村。こちらでも初クエストを完了し、ランクも一個上がりました。

さて、精霊から頂いた魔石ですが、ものすっごくダイナさんに山分け拒否されました。

でも二人でこなした仕事なので、何とか説得して一個は受け取ってもらいましたよ。

なんかすごく頑張った気分です。クエストより疲れたよ……。

宿屋に自分のお金で泊まれるようになり、ほっと一息。

そういえば祈りの欠片は満月の光にかざすんですね。

ご都合主義的に本日は満月、夜更かしの現代人として夜中を待つてかざしてみました。

すると

鮮やかな光を放ちながら、欠片3個は一個の石になりました。携帯でアイテムを確認してみると、

『賢者の祈り：あらゆる病やけがを癒すアイテム・道具として使うとステータス異常やHPを回復』

えっと、あれですか。ドクエの賢者の石の強化版みたいな感じ？序盤で強力なアイテムが手に入ったなあと、得した気分で、その深紅の半透明な石を光にかざして見ていました。

25・強制イベントです
よく考えると危ないよね？

真夜中＋満月＋手には価値のある石

うん。ものすごいフラグでしょう。
だって気付いちやったもん。人の気配。
久々の気配探知が絶好調に発動中です。

「で、だれ？」

気配のする方をひょいと見ると、この間のテンプレ強制ループフラグの赤髪の人です。
黒い服黒いマント、に顔も目だけ出ている感じです。

ただ、なんか思ったより細身です。何となく少年か女の人かって感じ
です。

ライバルフラグ？ヒロインフラグ？

ちよっと考え込んだすきに、ヒュツと空気を切る音がして、手から
深紅の石（賢者の祈り）が取られました。

かっこいいー。あれ鋼線使ってるのか？

あ、しまった。関係ないこと考えてて、追いかけるのが遅れました。
とりあえず追いかけることにしました。

ただ、追跡系のスキルないから見失わないようにしないと。

村の中を全速力で突っ切りながら、前に行った森とは反対方向の森
へ赤髪マント（命名）は入っていきます。

ヤバそうなので、夜中で申し訳ないけどダイナさんに連絡。

PTリング便利です。PT解除するまで有効ですから、まだどこに
いてもいつでも使用できます。

おや、森をちよっと行ったところに小屋がある。獵師小屋？

ああ、本当にテンプレ的に怪しいよ。

ダイナさんを待ちながら、逃げられないように気を配ってます。で

も、こういう状況だとふざけたくなるよね。

はい、こちら現場です。

窃盗犯と追いかけた被害者が森で対峙していますって・・・自分だよ。レポートしてどうするよ。

あーあれですね。強制戦闘。

Aは逃げ出したがまわりこまれたですね。わかります。

だって、向こう臨戦状態だもん。

こう考えている間もひゅんひゅん鋼線が周り飛んでいます。

困ったなあ。ほおっておくとテンプレ的に考えると囲まれちゃうよね。

モンスターの時と同じく携帯でポーズ状態にしながら鋼線をよける。コマンドを戦うではなく、避けるを選んでいます。

ただ、回避しながら鋼線切って囲まれないようにしてるけど決定力に欠けるんだよね。

どうしよう。

イベントばいから相手に怪我させないように説得(?)を試みてみると、ダイナさんが到着。

おお、さすがご都合主義機能搭載携帯！PTメンバーは結界を通すんだね。まあ当然か。

さすがに2対1だと余裕が出て、赤髪さん捕縛できました。顔を見ると女の子でした。

「ミランダ…！」

「くっ・・・すまない。ダイナ」

あー。ムービー状態始まっちゃった。

ダイナさんと知り合いだったんだね。

そんなことを考えていると、サクサク話が進んで、赤髪さん改めミランダさんは妹さんを人質に取られて悪徳商人のシヨルに高価なものを集めさせられていたらしい。

話がまとまり、村に行きシヨルに天誅を下すことになった。

ちなみに自分は全く話に加わってないよ。なのにメンバーに入っているよ。

さすが強制イベントだ。(笑)

きちんとミランダさんはシヨルの悪事の証拠も握っているらしい。

それにダイナさんには裁く伝手もあるみたいだ。

ちよつと物語を見る感じでわくわくしながらついて行くのは不謹慎かな？

早く妹さん助けだそうね。

というわけで、さて村に戻ってきました。

悪徳商人を裁く伝手はダイナさんのお兄さんでした。

自分は気付いてなかったんだけど、もともと村はこんなに殺伐としてなかったんだって。

小さい初心者の村だからみんな仲良くアットホームな感じだったらいいんだけど、シヨルが来てからみんないろいろあってピリピリしていたみたい。

ダイナさんも駆け出しの冒険者としてここで活動中だけど、元はもつと中央の方の街の出身で、一番上のお兄さんはお役人をしているそうだ。

で、悪名を聞きつけて明日あたりお兄さんがこの村に監査に来ると速達(伝書鳩?みたいな感じらしいよ。)が来たそうなんだ。で、明日朝市で合流してミランダさんの妹さんを助け出そうってことに

なつた。

村の手前でお兄さんとは無事合流。作戦会議もして、いざ実行！

途中ちよつと危ないこともあつたけど、妹さんは無事助け出せました。

悪徳商人シヨルもつかまつてめでたしめでたし。

妹さんは少し体が弱いため、病気の治療も兼ねて中央の街に行くことになった。

ダイナさんのお兄さんが責任を持って面倒をしてくれるつて。兄弟そろつていい人だ。

そして

「今回は世話になつた。私も駆け出し冒険者の身だ。できれば仲間に加えてもらえないか？償いの機会を与えてくれるなら精一杯頑張ろう。」

ぴろり〜ん

ミランダが仲間に加わつた。

現在のPTメンバーは戦士（剣：自分）、戦士（弓：ダイナさん）、盗賊（鋼線：ミランダさん）

えつと、バランスいまいち？魔術師とか僧侶欲しいなあ。

その後の町のことですが、ダイナさんのお兄さんが頑張りました。

えつと、何を言ってるかわかんないか。

シヨルをやつつけましたが、結構いろいろな方に手を伸ばしていたし、競合しそうなところ潰してたんだよね。

なので、あつちこつち村の中やら近隣の街やらのあれこれが、すぐくボロボロになってただけでダイナさんのお兄さんはそういう人の摘発と村や街の復興が専門なんだって。で、ボロボロになったところ元の人に戻したり、他から呼んだり頑張ってくれました。

言葉で言うとは簡単なんだけど、調整とか大変そうでした。

自分らもその手伝いをしたってことで、ご褒美ももらえるらしいんだけど、一段落するまではって数日だけ後回しにされてました。

その間、クエスト受けてたりいろいろしてたんで別に暇とかにはならなかったし、無駄でもなかったからいいんだけど。

そんなわけでお兄さんからきれいな水色の水晶をはめ込んだブローチ？っぽい物をもらいました。

ぴこーん

『チュートリアル 10/10：セーブを理解しよう・セーブアイテムを獲得したらセーブできます。セーブを理解しましょう。アイテムを選び、「使う」を選択してください。』

おお！久々のチュートリアル。

このブローチもどきがセーブアイテムなのか。さっそく携帯に取り込み内容確認してみた。

止水の勲章：セーブアイテムのひとつ。使うとセーブできる。使っても消費されない。

ふむふむ。安心して使えそうだ。

とりあえずひと段落したら使ってみよう。何が起こるかわからないし。

閑話2：精霊の町

ビナシの森で私を助けてくれた少年と一緒に行動することになった。恐ろしく強いにもかかわらず、素直な良い少年だと思う。

彼も駆け出しの冒険者とのことでパーティを組ませてもらった。

彼はひどく感謝してくれたが、私にとってはそれこそこっちがお願いしたことなのにと恐縮しきりだ。

彼にとっての初依頼となる薬草採取、確かに実入りはまあまあ良いが覚えることもたくさんあり余り冒険者には人気がない依頼だ。

私は元々一人で受けられるものを主にしていたから、こういった依頼が多かったが、彼ほどの腕があれば討伐系でもよかったはずだ。

それなのに、なぜこれを選んだのか。

その疑問は準備の段階で分かった。

彼は自分で作ったというポーションをくれたのだ。

魔法が使い、剣も使い、薬師という特殊技能持ち！万能じゃないか。私は自分が足手まといではないかという思いをさらに深くしていた。

そしてその思いは依頼遂行中にさらに深くなった。

彼の技能からして当然かもしれないが、彼の薬草選択の技術は早く正確だった。

そして途中で起こった出来事。

精霊が彼に助けを求めている。

精霊は元々、あまり人間とかかわるのを好まない。

たまに好かれる人間があり、それが精霊使いとして尊敬を受けるほど、精霊の能力は高く、恩恵は測り知れないのだ。

それくらい精霊の能力は人と比べ大きいのだ。

それなのに、その精霊から名指しでの依頼とは・・・。
彼は本当に何者なのだろう？

5・チュートリアルクリアとセーブ

夜になりました。

とりあえず色々なごたごたも落ち着いて、クエストも大体こなせるようになりました。

ここに来て1週間ちよいになります。

セーブって何？チュートリアル終了するとどうなるの？

色々思うことはありますが、セーブアイテムを使ってみます。

ドキドキです。

色々考えながら携帯のアイテム欄を開き、止水の勲章を使ってみました。

『セーブしますか』にはいと答えると、

『セーブしました。このまま続けますか。休憩をとりますか』と表示された。

ちよつと悩んだが、休憩をとってみようか、と思う。だって急にここに来たし、いきなり始まったし。

休憩をとるを選択し、OKを押すと、携帯からログイン時と同じような光があふれ始め、周りが見えなくなった。

光が収まると、そこは自分の部屋だった。

ログインする前と同じ状態。つけっぱなしのTVからは先ほどとは違う番組が流れてはいるが。

「80分か」

大体向こうでの1日が10分らしい。
手元の携帯を見ると『ログアウトしました。適度に休憩をお取りください』の表示。
夢ではないらしい

このアプリは何なのか、危険ではないのか。

色々思うところはあるが、退屈な生活に彩りを添えてくれるものが見つけた。

だれが何の目的で作ったものかは知らないが、その思惑に乗ってやるう。

とりあえずまたゲームをするために、今日の用事を先に終わらせることにした。

早く終わらせて戻らないと、と思う時点ですでに中毒者のようだ。
そう冷静な頭の片隅で思った。

閑話3：現実での中毒性

さて、用事を片付けよう。

「何してるの？」

ひよいとドアの隙間から妹が顔をのぞかせる。

「何って・・・」

「だってさっきつから、携帯見たまま固まってたよ。何かシヨツクなメールでも来た？」

ちよつと心配そうな、面白がってもいるような微妙な表情で妹は問いかける。

「いや、別に。アプリの設定してただけだよ。」

手で携帯をいじりながら返事をする。

「あ、それ、今回の最新のだね。最近それ使っている人多いよね。」

「

携帯を見て妹が考えている。

「今、機種変更それだと0円だけ？私も変えちゃおうかなあ。」

妹の声が聞こえるが、意味は頭に入っていない。

早く用事を終わらせて、続きをしたい。

やっとチュートリアルが終わったんだから、ストーリーを見てみたい。

面白かったらそれで良いし、面白くないならそれで、まれに見る糞ゲーであってほしい。

いや、それじゃあちよつとマニアックすぎるか？

「携帯、機種変更したら、面白そうなアプリあったら教えてね。」

妹の声に反射でわかったと答えながら外へ行く準備をし、1階に降りていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4800u/>

トリップ・アプリ【総集編】

2011年8月20日00時27分発行